



For a Better Tomorrow

AISIN GROUP

株主の皆様へ

第97期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

アイシン精機株式会社

証券コード：7259

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第97期中間（第2四半期連結累計期間：2019年4月1日から2019年9月30日まで）のご報告を申し上げます。

アイシングループは、技術開発力、ものづくり力、グループの総合力によって自動車業界の発展に貢献してきました。しかしながら現在、自動車業界は、電動化、自動運転の進展など100年に一度の大変革期にあり、その構造を大きく変貌させようとしています。私たちも自らを変え、新しいアイシングループとして、この大変革期を

乗り越えなくてはなりません。これから50年、100年と成長できる企業基盤の構築をめざして取り組みを進めてまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



取締役会長

豊田 幹司郎

取締役社長

伊勢 清貴

2019年11月

|| 営業の概況

■ 業績について

第97期中間の業績につきましては、中国市場を中心としたオートマチックトランスミッション販売台数の減少等により1兆9,137億円と前年同期に比べ4.0%の減収となりました。利益面では、営業利益は534億円（698億円の減益）、税引前四半期利益は544億円（778億円の減益）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は303億円（342億円の減益）となりました。

■ 配当について

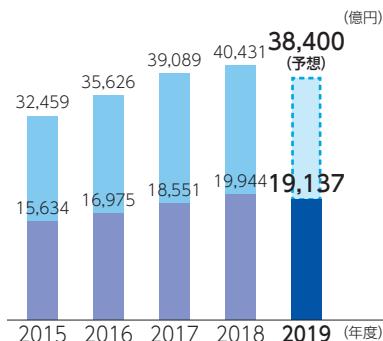
中間配当金につきましては、1株につき60円とさせていただきます。

財務ハイライト

■ 通期 ■ 第2四半期連結累計期間

売上収益 (売上高)

1兆9,137億円 前年同期比4.0%減



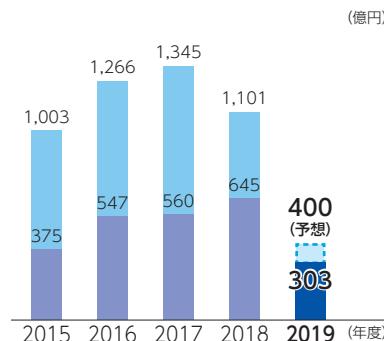
営業利益

534億円 前年同期比56.6%減



親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益

303億円 前年同期比52.9%減



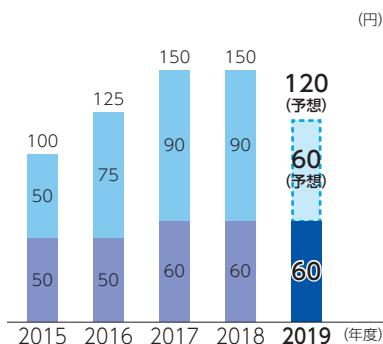
基本的1株当たり四半期(当期)利益

112.74円



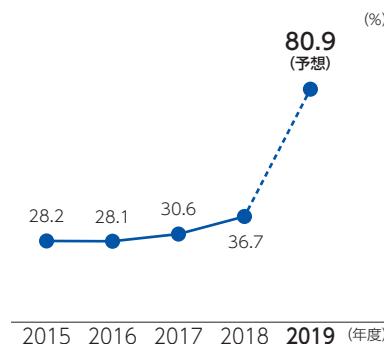
1株当たり配当金

60円



配当性向

80.9%



見通しに関する注意事項： この中間報告書に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通し、戦略等は、現在入手可能な情報に基づく予想であり、実際の業績はこれらの業績予測とは異なる可能性があります。従って投資判断に際しましては、これらの計画、見通し等に全面的に依拠することはお控えくださいますようお願いいたします。

持続可能な社会の実現に貢献する企業をめざして

■マテリアリティ（優先課題）の特定

アイシングループは、創業以来、「品質至上」を経営理念の基本とし、お客様に喜ばれる魅力ある商品づくりに取り組んでまいりました。また、「豊かな社会づくりへの貢献」「社会・自然との調和」を経営理念に掲げ、持続可能な社会の実現に貢献する企業行動の実践を推進しております。

アイシングループのこのような価値観・取り組みは、2016年1月に発効した国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」と親和性が高く、今後も、事業活動を通じ、SDGsの達成に貢献できると考えています。

これらの取り組みを加速させるために、当社グループとして注力していくマテリアリティ（優先課題）を選定しました。

アイシングループのマテリアリティ(優先課題)



■Topic

特例子会社「アイシンウェルスマイル株式会社」を設立

障がい者の雇用機会創出、拡大を目的として2019年10月に「アイシンウェルスマイル株式会社」を設立しました。アイシングループ内での施設内清掃や文書電子化などといったオフィスサポートを主な事業として、2020年4月から営業開始予定です。

アイシングループはこれまで「ノーマライゼーション」を基本理念として、障がい者も健常者と同じ職場、業務で就業をする障がい者雇用を行ってきました。

今回の会社設立により、障がい特性に合わせた労働条件の整備を行うことができるため、これまで健常者と同じ職場や業務での就業は難しかった障がい者に対しても、就労機会を創出することができます。

新会社では、障がい者によるオフィスサポート事業のほか、アイシングループ各社への障がい者雇用に関する教育、採用活動、雇用管理の支援も行っていきます。

事業概況

売上収益構成比 (2019年度第2四半期連結累計期間)



家庭用燃料電池コージェネレーションシステム

住生活・エネルギー関連・その他

734億円 3.9%

- コージェネレーションシステム
- ガスヒートポンプエアコン
- シャワートイレ など



1モーターハイブリッドトランスミッション

パワートレイン

1兆244億円 53.5%

- 電動駆動モジュール
- ハイブリッドトランスミッション
- オートマチックトランスミッション
- クラッチディスク・カバー など



カーナビゲーションシステム

情報・電子

574億円 3.0%

- カーナビゲーションシステム
- ECU
- センサー

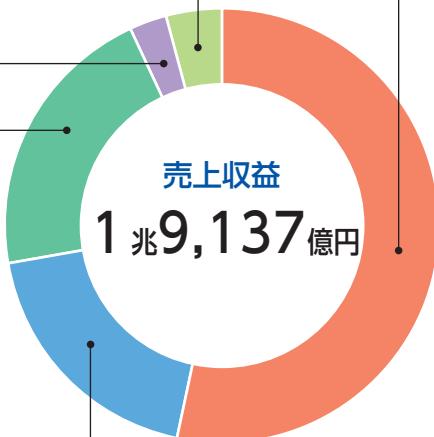


電子制御ブレーキシステム

走行安全

3,595億円 18.8%

- 電子制御ブレーキシステム
- ディスクブレーキ
- ESCモジュレーター
- エアサスペンションシステム
- アクティブリアステアリング など



パワースライドドアシステム

車体

3,988億円 20.8%

- パワードア
- ドアフレーム
- サンルーフ
- パワーシート
- 塗布型制振材 など

さらなる競争力強化に向け、 アイシン精機とアイシン・エイ・ダブリュの経営統合を決定

アイシン精機株式会社（以下、AI）およびアイシン・エイ・ダブリュ株式会社（以下、AW）は、2019年10月31日、AIとAWが経営統合することに基本合意いたしました。

自動車業界では、CASE※の急速な進展や異業種の参入など100年に一度と言われる大変革の時代を生き抜くために更なる競争力強化が必要であり、アイシングループでは2017年4月から、グループ内の連携強化と経営の効率化を狙い、バーチャルカンパニー制を導入して改革を進めてきました。

導入から2年半、会社をまたいだ事業領域での連携や管理機能の集約が進みましたが、外部環境の変化も加速してきており、今回AIとAWは、さらに構造改革を一段進めるため、両社対等の精神で合併することといたしました。本合併は、AWがトヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）の保有するAW株式全数を自己株式取得した後、AIとAWが合併する形で実施予定であり、トヨタからは本件の趣旨に賛同し、今回株式を譲渡することで基本的に合意を得ております。

AIとAWは、合併で生まれる新会社で重点領域へのリソースシフトをさらに加速し、事業・管理両面でのシナジー効果の創出を通じて、CASE領域における競争力強化をめざしていきます。

※CASE：「Connected（コネクティッド）」「Autonomous（自動運転）」「Shared/Service（シェアード/サービス）」「Electric（電動化）」の頭文字をとった言葉で、自動車産業の重要なトレンドを示します。

経営統合スキーム	AWがトヨタの保有するAW株式全数を自己株式取得した後、AIとAWを合併（存続会社はAI）
株式譲渡日	2020年4月（予定）
合併期日	2021年4月1日（予定）

AI SIN



AW



米国テキサス州に新工場を設立

米国におけるオートマチックトランスミッション事業強化に向けた新たな投資として米国テキサス州シロロ市に「エイ・ダブリュ・テキサス株式会社」を設立することを決めました。2021年9月の生産開始をめざし準備を進めています。新工場建設に伴い、2023年までの5年間で、約4億米ドルを上限とする投資と、約900名の新たな雇用を予定しております。

今後、米国において需要が見込まれるSUV向けオートマチックトランスミッションや、電動化対応としてのハイブリッドトランスミッションへの生産対応強化を図り、更なる競争力向上を図ります。



2019年11月4日 起工式の様子

アフターマーケット向け商品の販売体制強化

アイシングループでは、アフターマーケット事業の更なる拡大を目的に、2018年8月にアフターマーケットバーチャルカンパニーを立ち上げました。グループ一体となって、世界各地での体制の強化を進め、2022年度には2018年度の約2倍となる800億円までの売上げ拡大をめざします。2019年3月にはタイでアイシアジアタイランド株式会社とモノヨンチャイ株式会社の資本・業務提携契約を締結しました。また、2019年4月には中国を中心にアフターマーケット向けの部品販売を行う「愛信精機（上海）貿易有限公司」を新たに設立、2019年6月には中南米地域でアフターマーケット向けの部品販売を行う「Aisin Sales Latin America, S.A.」をパナマに設立しました。



「Aisin Sales Latin America, S.A.」 合併調印式

グループ内ソフトウェア専門会社の統合

当社グループ内で車載ソフトウェア開発を担当するアイシン・コムクルーズ株式会社と株式会社エイ・ダブリュ・ソフトウェアが2019年10月1日に統合し、新会社「アイシン・ソフトウェア株式会社」として始動しました。統合により効率的な開発体制を構築することに加え、電動化や知能化、コネクティッドに対応するソフトウェアの開発や実装スピードの加速、品質・スキルの向上を図ります。



2019年10月1日 経営統合式の様子

トピックス (技術・製品)

現在クルマの在り方は大きく変化し、CASEに向けた熾烈な開発競争が繰り広げられています。また、CASEに関連する技術開発の進展は、地球温暖化防止や交通事故低減など持続可能な開発目標(SDGs)がめざす社会課題の解決にもつながっていきます。アイシングループは持続的成長と持続可能な社会の実現に向け、CASEに対応する技術・製品の開発を強化しています。

Electric (電動化)

アイシングループは、2004年に部品メーカーとして初めてハイブリッドシステムを世に送り出して以降、2モーターハイブリッド、1モーターハイブリッドをはじめとする、電動化ユニット製品での実績をあげてきました。

2018年度までの電動化ユニット生産台数累計は、約370万台を超え、今後も生産台数の拡大を見込んでいます。

そして、低炭素社会の実現をめざして、これまで技術開発に取り組んでいた電動駆動モジュール「eAxle」の更なる普及を進めていきます。

2020年には電気自動車(EV)向け「eAxle」の量産がスタートします。2020年発売のトヨタ自動車「C-HR」・「IZOA」に搭載される予定です。



「eAxle」搭載のトヨタ自動車「C-HR」・「IZOA」

Autonomous (自動運転)

駐車支援技術については、2003年にステアリング操作が不要な自動駐車技術を開発し、トヨタ自動車の2世代目プリウスに採用されました。この技術を進化させ、ステアリング操作に加えてアクセルやブレーキ操作も不要にする新たな自動駐車技術を開発し、2020年2月発売予定のトヨタ自動車「ヤリス」に搭載されます。



「ヤリス」に採用された駐車支援システム
※トヨタ自動車、デンソー、デンソーテンとの共同開発

また、公共駐車場における完全自動のバレーパーキングの開発を進めており、愛知県内で実証実験を行っています。

さらに、ドライバーモニターシステムをはじめとする交通事故につながる脇見運転など、ドライバーの状況を検知する技術にも取り組んできました。

2006年に世界で初めて、運転手の顔の向きを検知するシステムを製品化し、現在では、運転手の顔の向きだけでなく、目の開閉状況や視線、ドライバー以外の車室内の様々な状況を検知するなど、更なる交通事故の低減や、安全な運転の提供に向け、技術を進化させています。

Connected (コネクテッド) & Shared/Service (シェアード/サービス)

アイシンググループは、今では当たり前となっている音声で道案内を行うボイスカーナビゲーションシステムを、1992年に世界で初めて開発しました。2019年9月に発表された「LINEカーナビ」にも、カーナビゲーションの技術が活用されています。

カーナビゲーション開発で培った、正確な位置情報技術、コネクティッド技術などを活かし、現在も社会に役立つ、様々な技術開発やサービス提供に取り組んでいます。

愛知県豊明市で、2018年から開始した乗り合い送迎サービス「チョイソコ」は、現在、全国の自治体や自動車ディーラーなどからもお引き合いの声をいただいています。

また、飲酒運転の撲滅をめざして「代行運転サービスアプリ」も開発しました。愛知県内で先行運用を開始しており、その他の地域でも拡大に向け進めています。

LINEカーナビ



車載イメージ

無料ダウンロード



利用可能なバージョンは
iOS11.0以上



利用可能なバージョンは
Android 5.0以上

代行運転サービスアプリ

すぐ来られる業者と
料金を検索

空き状況を見ながら
アプリで簡単に予約

お迎え車両の
位置を確認



iPhoneアプリ
無料ダウンロード

※Android版は近日公開予定



■ 乗り合い送迎サービス「チョイソコ」



高齢化が進む中で、“買い物難民”、自力での通院が困難である“医療難民”の増加が社会問題となっています。このような問題の解決に向け、地域の皆様と医療機関や公共施設、フィットネス・スーパーマーケット等の施設を結ぶ「乗り合い送迎サービス」を提供します。複数の利用者の目的地・到着時刻を専用システムにより計算し、複数の方が乗り合わせた上で目的地まで送る仕組みとなっており、地図上のルート計算には、カーナビゲーションの技術を応用しています。

2019年10月にはグッドデザイン賞ベスト100およびグッドフォーカス賞【新ビジネスデザイン】に選出されました。

連結決算

要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産	1,523,488	1,434,410
現金・現金同等物	357,195	341,415
営業債権・その他債権	620,630	563,589
棚卸資産	341,506	365,859
その他	204,156	163,546
非流動資産	2,228,392	2,304,698
有形固定資産	1,479,621	1,480,020
無形資産	40,702	39,973
使用権資産	—	52,415
その他	708,069	732,288
資産合計	3,751,880	3,739,109

科目	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債	1,051,748	950,156
営業債務・その他債務	850,616	755,023
社債・借入金	86,148	79,167
その他	114,983	115,965
非流動負債	826,504	910,776
社債・借入金	524,193	568,284
その他	302,311	342,492
負債合計	1,878,252	1,860,932
資本の部		
親会社所有者持分	1,346,902	1,356,329
資本金・資本剰余金	115,093	112,168
利益剰余金	1,226,224	1,233,083
その他	5,585	11,077
非支配持分	526,725	521,846
資本合計	1,873,627	1,878,176
負債及び資本合計	3,751,880	3,739,109

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上収益	1,994,469	1,913,765
売上原価	1,742,926	1,712,654
売上総利益	251,542	201,110
販売費及び一般管理費	141,342	154,291
その他の収益	20,073	11,850
その他の費用	6,991	5,196
営業利益	123,281	53,473
金融収益	7,661	8,316
金融費用	4,058	11,932
持分法による投資利益	5,344	4,605
税引前四半期利益	132,228	54,462
法人所得税費用	36,182	15,636
四半期利益	96,046	38,825
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	64,551	30,382
非支配持分	31,494	8,442

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,228	131,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 172,412	△ 137,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,187	△ 2,318
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,433	△ 7,131
現金及び現金同等物の増減額	△ 9,805	△ 15,780
現金及び現金同等物の期首残高	406,508	357,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	396,703	341,415

会社概要

会社データ (2019年9月30日現在)

会社名 アイシン精機株式会社
本社所在地 〒448-8650
愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
設立年月日 1965年8月31日
資本金 450億円
従業員数(連結) 121,158名
連結対象会社数 連結子会社220社(国内82社、海外138社)
持分法適用関連会社10社

取締役・監査役 (2019年9月30日現在)

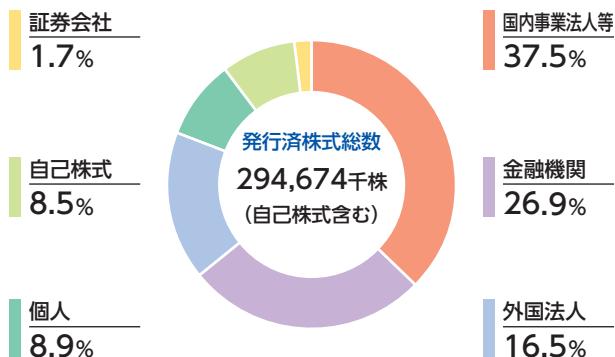
取締役会長 豊田 幹司郎
取締役社長 伊勢 清貴
取締役副社長 三矢 誠
取締役副社長 水島 寿之
取締役 尾崎 和久
取締役 大竹 哲也
取締役 小林 敏雄*
取締役 原口 恒和*
取締役 濱田 道代*
常勤監査役 名倉 敏一
常勤監査役 堀田 昌義
監査役 加藤 光久
監査役 小林 量
監査役 高須 光

*会社法で定める社外取締役

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 700,000千株
発行済株式総数 294,674千株
株主数 26,365名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
トヨタ自動車株式会社	66,863千株	24.8%
株式会社豊田自動織機	20,711	7.6
株式会社デンソー	12,964	4.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,296	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,812	4.3
東和不動産株式会社	6,344	2.3
日本生命保険相互会社	6,300	2.3
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,700	1.3
明治安田生命保険相互会社	3,675	1.3
アイシン精機持株会	3,653	1.3

(注) 1. 当社は、自己株式を25,169千株所有しておりますが、上記の大株主より除いております。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式数を控除して算出しております。

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払い株主確定日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は、9月30日
単元株式数	100株
証券コード	7259
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(お知らせ)

中間配当金のお受け取りについて

今回お届けした第97期中間配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2019年12月27日(金)までとなっております。第97期中間配当金領収証をお持ちになって、お近くのゆうちょ銀行または郵便局でお早めにお受け取りください。

株式手続きについて

株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座に記録された株式に関するお手続きについて

左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店でもお取り扱いいたします。

未受領の配当金について

受取期間終了後は、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR情報ツールのご案内

■ 「アイシングループレポート2019」(統合報告書)を発行しました

投資家をはじめとしたあらゆるステークホルダーの皆様を対象に、より積極的なコミュニケーションを図るツールとして、「アイシングループレポート2019」(統合報告書)を9月30日に発行いたしました。

「アイシングループレポート2019」(統合報告書)では、持続可能な社会の実現に向け、当社グループがどのように価値を創造しているかという「価値創造プロセス」を改めて整理し、明確にしました。また、当社グループの強みである幅広い事業領域について、2018年度の取り組みを領域ごとに紹介しています。

■ 公式企業サイト

<https://www.aisin.co.jp>



統合報告書オンライン版URL
https://www.aisin.co.jp/csr/report/aisin_ar2019/

アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
電話 (0566) 24-8441 (代表)

